

和歌山病院 ニュース

創刊号（季刊誌）
平成12年10月
編集発行
国立療養所和歌山病院



チョウセンアサガオ（朝鮮朝顔） 別名：マンダラゲ（曼陀羅華）

干した葉は喘息の薬にするというが、種子と共に猛毒。江戸中期の医家である華岡青洲（1760～1835）は23才の時、京都へ遊学し医学を修め郷里の那賀町に帰ってきた。当時の外科の難病と言えは大手術を要するものばかりで、患者は激しい痛みに死を招くおそれが多く、何とかしてこの問題を解決して難病の苦しむ多くの人々を救いたいとの一念から麻酔薬の研究に取り組み、実験に実験を重ね、心血を注ぐこと20年、ついに曼陀羅華（まんだらけ）を主成分とする麻酔薬（通仙散）を作ることに成功した。そして命がけの人体実験により確信を得て、麻酔薬通仙散を用いて全身麻酔下における乳がんの大手術に成功したのは文化元年（1804）10月13日であった。

目次

巻頭言	和歌山病院ニュース発刊に際して……………	2
お知らせ	慢性呼吸器疾患の健康教室……………	2
	心臓病の健康教室……………	3
質問箱	循環器（血圧）……………	3
今回の“なんで”	なんで一、和歌山病院で薬くれへんの？……………	4

職員一同は、患者様の権利と立場を尊重し、地域と密着した『安心と信頼をいただける病院』を目指します。

《お 知 ら せ》

『慢性呼吸器疾患のための健康教室』開催

現在、当院では慢性の呼吸器疾患（肺気腫・慢性気管支炎・気管支拡張症・肺結核後遺症・肺せんい症など）の方がたくさん入院や外来通院をされています。

当院では、数年前より慢性呼吸器疾患患者様に
対し、包括的呼吸リハビリテーションを入院して
いただき行ってきました。

これは、呼吸困難や排痰困難で苦しむ患者様に、
呼吸訓練や筋力トレーニングを中心とした理学療
法だけでなく、個々の患者様に現在の病状や緊急
時の対応及び、酸素や薬を有効に使う方法並びに、
食事や入浴などの日常生活の注意点を知ることな
ど総合的に病気とのかかわりについて理解してい
ただくことにより、すこしでも快適な生活をおく
れるように、多くの職域にわたる専門家チームが
関わっていくことです。



本年4月より、外来でもこの包括的リハビリテーションを行うことを目的に、慢性呼吸器疾患患者様のための健康教室を開催しております。教室は年4回に分けて行います。内容は、医師・看護婦(士)、管理栄養士・薬剤師など、より病気に関するさまざまな方面からの説明を行い、さらに直接呼吸困難の改善につながる、口すばめ呼吸や腹式呼吸などの理学療法の実践を理学療法士を中心としたスタッフにより毎回行います。

現在は、当院へ入院したことのある人を中心に案内をさせて頂いておりますが、順次外来通院患者様地域の方へと対象を広げていき、健康管理のお役にたてればと考えています。

*** 次回開催予定日 平成12年12月2日 土曜日 午後2時より ***

巻 頭 言

『和歌山病院ニュース』の発刊に際して

このたび、広報誌「和歌山病院ニュース」を発行することになりました。対象は日高医療圏（御坊市を含む一市7カ町村）にお住まいの皆様方です。目的は国立療養所和歌山病院の診療内容などを単に紹介することではありません。ご承知とは思いますが、全ての国立病院・療養所はその受け持つ診療科目などは厚生省から指定されており、当院では循環器疾患、呼吸器疾患、小児難病などの専門病院として規定されており、整形外科や皮膚科などの診療科を持つことはありません。しかし一方、県全体の医療需要から必要と思われる診療科を新たに持つことは許されております。和歌山医大神経内科の近藤教授のご援助により昨年9月から開始した、パーキンソン病などの神経難病外来の開設はその様な理由によるものです。

日高医療圏では地域中核病院としての日高病院をはじめ、北出病院、北裏病院と当院と64の診療所があります。日高医師会を中心として、過去40年にわたり毎月の勉強会が続けられており、病院と診療所の連携がうまく行われている地域であります。

このたびの広報誌発行に際しては、皆様の日常生活に役立つ簡単な医学知識や医療情報なども掲載していきたいと考えております。皆様のご意見などを参考にさせていただきながら、親しまれる広報誌づくりを目指します。

院 長 西 村 治

『心臓病のための健康教室』開催

成人病が生活習慣病と呼ばれるようになり、治療が進歩するとともに予防の重要性が強調され、テレビや雑誌でも生活習慣病の予防として食事や運動についての特集がよく見られるようになりました。

私たちの病院では循環器専門医が心臓血管病を中心として診療を行っていますが、心臓血管病も生活習慣と大きく関係しています。そこで、これからの心臓血管病を予防するため、また現在、心臓病で治療中の方にもこれからの生活を有意義なものにするために、『心臓病のための健康教室』を開催しています。今年度は、5月には「虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）」について、7月、9月には「心不全および動脈硬化の危険因子（高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満）」について開催し、当院に通院中の方だけでなく一般の方々にも参加していただきました。医師、看護婦（士）、薬剤師、管理栄養士、運動療法士がそれぞれの専門分野（病気の内容、日常生活の注意、薬、食事、運動）につきわかりやすく説明し、参加者の御質問にお答えするようにしています。楽しく、よりわかりやすく毎回スタッフは趣向をこらしています。11月には「不整脈」を話題の中心にして開催する予定です。



これからの生活をより豊かで楽しいものにするため、少しでもお役に立てればと考えています。

*** 次回開催予定日 平成12年11月18日 土曜日 午後2時より ***

健康教室のお問い合わせは
国立療養所和歌山病院 事務部 医事課 TEL 0738-22-3256 内線 230 まで

質問箱(循環器・血圧) 《皆様からお寄せいただいた質問にお答えするコーナーです。》

Q: 昨年の健康診断で血圧が高いと言われたけど、症状もないのでずっとそのままにしていました。でも、今年健康診断でまた高血圧を指摘され、治療が必要と言われました。高血圧はどうしていけないのでしょうか。



A: 高血圧は自覚症状があまりありません。しかし、ふだん何も症状がなくても高血圧が続いていると、ある日突然に心臓や脳血管の病気をひきおこすことがあります。それで、高血圧は高脂血症(高コレステロール血症)、喫煙とともに心臓病の危険因子と考えられています。ある調査によれば高血圧があると心臓病の発症は約3倍になるといわれています。さらに、高脂血症や喫煙が同時にあるとさらに発症する確率は当然高くなります。一方、高血圧治療を受けた方々は、受けなかった方々に比べると冠動脈疾患(狭心症、心筋梗塞)や脳卒中の発症率が約30～40%減少するという報告もあります。従って、動脈硬化を予防するために肥満、コレステロール、タバコに注意を払うとともに、血圧もコントロールしていくことが健康的な生活を送っていくために大事なことと考えられます。

外来診療担当表

平成12年10月現在

	月	火	水	木	金
第1診	(胸部外科) 西村	(胸部外科) 西田	(脳外科) 間	(総合外来) 西村	(胸部外科) 松岡
第2診	(総合外来) 松岡 (初診のみ)	(呼吸器専門外来) 小野	(呼吸器・内科) 上田	(胸部外科) 平井	(呼吸器専門外来) 岡村
第3診	(循環器・内科) 楠山	(循環器・内科) 水越	(呼吸器専門外来) 駿田	(循環器・内科) 楠山	(循環器・内科) 豊田
第5診	(循環器・内科) 豊田	(循環器・内科) 今西		(循環器・内科) 森脇	(循環器・内科) 水越
第6診	(呼吸器専門外来) 駿田		(神経内科) 広西 (隔週)	(呼吸器専門外来) 川邊	午前(神経内科) 近藤(隔週) 午後(睡眠障害)
小児科	佐藤	島津	(アレルギー外来) (予約診療)	佐藤	島津
放射線		池田		池田	
検査	心エコー	心エコー 内視鏡		心エコー 腹部エコー 内視鏡	心エコー

上記の診察日は休暇や学会出席等で変更することがありますので、詳しくは受付窓口でご確認ください。

診療科目 内科・呼吸器科・循環器科・小児科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・放射線科

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
(睡眠障害外来は毎週金曜日の午後1時30分から午後4時まで)

面会時間 午後1時から午後8時まで

今回の“なんでー”

“なんでー、和歌山病院で薬くれへんの?”

“出してくれたら世話ないのに…”こんな疑問、ありませんか？

和歌山病院では、外来患者様に『院外処方せん』を発行しています。

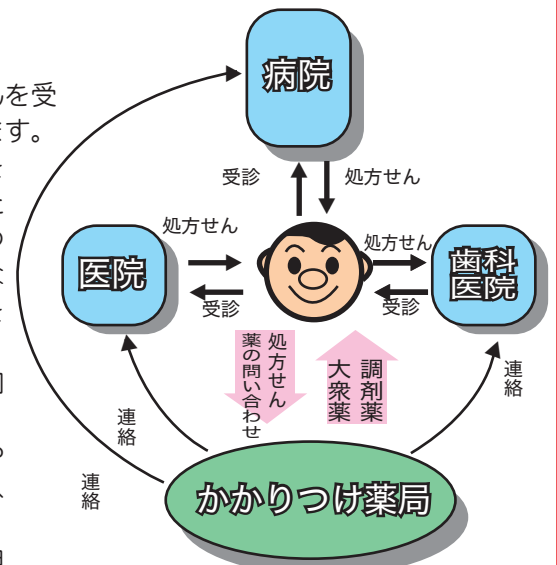
患者様は、医師の診察を受けた後、病院で薬をもらう代わりに処方せんを受け取り、それを町の薬局に持っていく調剤をしてもらい、薬を受け取ります。

薬局では患者様ごとに、薬に関するいわばカルテのような『薬歴簿』を作成しています。薬歴は、体質(アレルギーなど)や、これまで使用した薬などを書いておくもので、同じ薬局に行くようにしておけば『かかりつけ薬局』を決めておけば、この薬歴簿によって薬の相互作用や副作用などを未然に防ぐことができます。このことで、患者様はより安心して薬を服用できるようになります。

以上のような理由で、このようなシステム(医薬分業といいます)が、和歌山病院だけでなく、御坊市や日高郡内に広がっています。

“〇〇医院の薬と△△病院の薬、いっしょに飲んで、飲み過ぎにならんやろか?” “町の薬局で薬買ったんやけど、今飲んでる薬とけんかせへんかな?” など薬の交通渋滞は、おきていませんか？

薬の交通整理役として『かかりつけ薬局』を決め、気軽にどんどん活用していったほしいと思います。



ホームページアドレス
<http://www.hosp.go.jp/~wakah/>

国立療養所和歌山病院
〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
電話番号 (0738) 22-3256
FAX (0738) 23-3104